

14年12月
 第232号

力を合わせ公民館の床拭きをする空手教室の子ども達。70周年では他の教室メンバーが頑張りました。地域の変化を感じます



今年も1年間 お世話になりました！

心合わせ 新年もみんなで頑張ろう

今年は自治会としても「創立70周年」という大きな節目でした。11月の県知事選、引き続き国民不在の衆議院解散と総選挙。日本国と沖縄県民にとっても相反する形で将来に向けての大きな節目になるかも知れません。浦添市も西海岸の将来をかけた新しい論議が本格化しました。その意味では確実に大きな節目の年になるかも知れません。そして「地域から社会を変える」好機にもなることを信じ頑張りましょう！

穏やかで希望に満ちた新年をお迎え下さい

熱々餅で年末味わう

全県一斉CGG活動

上港川緑地公園も久し振りに区民が集まり賑わいました（21日）。とはいえ、集まりは連年の半分程度。11月の70周年記念式に向け、公民館周辺はすでに花木植えを済ませ

年末年始の公民館活動 29日から新年4日まで休館。5日から再開します

ていたこと、12月はグランドゴルフ大会、翌週は選挙投票、学校も学習発表会に続いて、CGG当日にフルタイムなど、とにかく行事が集中し



ぎました。とりあえず行事が実施でき、緑地公園も久し振りにきれいな花々で彩られました。参加の皆さんお疲れ様でした



港川中学校の生徒も20人以上が公園の清掃作業、餅つきに参加、楽しんでいました。上段写真は花壇の花木植えに汗を流す上港川のみなさん。

真冬 真夜中の海を楽しむ

カーミージのイノベーター観察会

冬の海で観察会を実施しているのは自治会だより130号（11月）でも紹介した市民活動団体「カーミージの海を楽しむ隊」（浪岡光雄（代表）。冬の海は夜間に干満差が大きく生き物の動きも活発。2週間おき大潮の日に行っており、午前0時半集合で



ゆくのぞきとときどき閑話

カーミージ周辺の海浜公園計画が大幅に縮小変更される。3年がかりで進められてきた「まちづくり推進事業」だが、防衛省補助事業としてはすでに10月の段階で中止を決定し、今後は砂浜に近い一部の土地と「拠点施設」などを一括交付金事業として取り組むという。24日、これまで構想づくりから関わってきたワークショップメンバーへの説明会が公民館で行われた。写真。事業変更の原因は地権者との取得交渉が頓挫したから。参加者からは「地権者との事前交渉が一度もなされなかった」「市の取り組み方に批判の声が上がった。市民感覚では至極当たり前のことが「当たり前」のように言えない。今のままでは進められない。今後の進展も気がかりだが、西海岸計画へのあやふやな対応にも通じるものを感じてしまう。新年こそ！そう願いたいネ



の活動開始。参加者は家族連れが多く、この日も遠く読谷や豊見城などからも駆けつけるなど注目を集めています。写真。毎回20人を越える盛況ぶりです。ピーターが多いのも特長。次回は新年4日の予定。